

NEWSLETTER

No.72

1 April 2019

・教室をめぐる動き	・ ・ ・ ・ 1
・2019年度地理学教室行事予定	・ ・ ・ ・ 1
・2018年度国土館大学地理学会冬季巡検（富士山巡検）報告	・ ・ ・ 2
・新刊案内（J. ウォーリー・ヒギンズ著『60年前の東京・日本』光文社新書）	・ 3
・地理実習室および地理情報処理室（世田谷10号館）の利用について	・ ・ ・ 4
・地理学教室・購入図書資料リスト（2018年度）	・ ・ ・ 5
・地理学教室・購入主要備品リスト（2018年度）	・ ・ ・ 6
・製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2018年度）	・ ・ ・ 7
・2019年3月卒業生の進路・就職先	・ ・ ・ 7
・就職活動体験談（2018年度）	・ ・ ・ 8
・2018年度における教員の研究活動等	・ ・ ・ 11

【教室をめぐる動き】

2019年度を迎えるにあたり、次のような先生方の動きがあります。

<非常勤講師の退任>

大八木英夫 先生 「日本の水環境」「海洋と陸水の科学」を担当
小堀 昇 先生 「地図学」「地形図判読法」を担当

<非常勤講師の新任>

須田 芳彦 先生 「日本の水環境」「海洋と陸水の科学」「グローバルな気候環境」を担当
田中 圭 先生 「地図学」「地形図判読法」を担当

<副学長 就任>

長谷川 均 先生

今年度の専攻（コース）主任・学年担当・大学院幹事は、以下の各先生です。

専攻主任	加藤 幸治	1年担当	磯谷 達宏	2年担当	佐々木明彦
		3年担当	内田 順文	4年担当	長谷川 均
大学院幹事	内田 順文				

【2019年度 地理学教室行事予定】

4月 2日 ~ 10日	新入生オリエンテーション期間 (在学生ガイダンスは3月末に実施)
5月 29日 ~ 30日	地理学野外実習A（1年生地理野外実習）
6月 15日	国土館大学地理学会
10月 1日 ~ 4日	地理学野外実習B（2年生地理野外実習）
10月 28日 ~ 31日	地理学野外実習C（3年生地理野外実習）
12月 10日	卒業論文 提出締切（15:00）
12月 21日	国土館大学地理学会
2月 6日 ~ 8日	卒業論文公開口頭試験

【2018年度国士舘大学地理学会冬季巡検報告】

2018年度第2回目となります冬季巡検が、2019年2月14日に山梨県で実施されました。参加学生は7名で、佐々木先生に引率して頂き、「富士山の自然環境と歴史」というテーマで富士山麓に広がる自然について地理学的視点から学びました。

日 程：2019年2月14日（木）
テ ー マ：「富士山の自然環境と歴史」
引率教員：佐々木明彦 先生
集 合：石和温泉駅（09:15）
解 散：富士山駅（16:20）
コース（移動は全て佐々木先生運転のレンタカー）

石和温泉駅 09:20 発_09:35 着 山梨県立博物館 10:35 発_11:00 着 河口湖 11:05 発 _11:25 着 西湖 11:26 発_12:05 着 本栖湖 12:15 発_12:40 着 道の駅なるさわ 13:25 発 _13:30 着 富士青木ヶ原溶岩スパイラル群 13:50 発_14:00 着 鳴沢氷穴 14:20 発 _14:50 着 山中湖 15:00 発_15:20 着 忍野八海 16:00 発_16:20 着 富士山駅
--

図1 巡検の行程表

石和温泉駅出発後、初めに山梨県立博物館を見学しました。ここは山梨県での古くからの生活環境や産業を展示した博物館であり、古来の人々がどのように生活し、どう自然と付き合っていたのかを学習しました。



写真1 河口湖で佐々木先生の説明を受けている様子（行事部 根本撮影）

続いて富士河口湖町方面へ進み、河口湖畔の大石公園へ立ち寄りました。河口湖は富士五湖で最も広い湖で、「古せの湖」から流出する河川が溶岩流でせき止められて誕生しました。ここで佐々木先生より「古せの湖」の説明や富士山の形成について説明を受けました。



写真2 本栖湖に達した青木ヶ原溶岩流の上を歩いている様子（行事部 原撮影）

次に、西湖を見た後に本栖湖を訪れました。本栖湖には846年の青木ヶ原溶岩流が流入しており、湖岸に沿って青木ヶ原溶岩の様子を観察できます。ここでは実際に青木ヶ原溶岩流の上を歩いたのち、佐々木先生から青木ヶ原溶岩流について説明を受けました。

その後、昼食の際に訪れた「道の駅なるさわ」は富士五湖の中心近くに位置する道の駅で、富士山を眺望でき、溶岩樹形（溶岩流が木を巻き込み冷え固まった後に木が枯死したことでできた空洞）の観察や自然探索路の探索をすることができます。ここでは昼食休憩と溶岩樹形の観察をしました。昼食後は道の駅裏手にある富士青木ヶ原溶岩スパイラル（溶岩流の中に発生したガスの抜け口）群へ行きました。ここは青木ヶ原溶岩流の末端部にあたる場所で、ここでは溶岩樹形がスパイラルと同一となっているものが連なっており、そのスパイラル群を観察しました。



写真3 富士青木ヶ原スパイラル群を観察している様子（行事部 原撮影）

スパイラル群を観察した後は、鳴沢氷穴を見学しました。鳴沢氷穴は風穴の一つですが、通年氷が張っている部分があるため、氷穴と呼ばれています。この風穴は、通常流れながら徐々に冷えていく溶岩流が、空気と触れる表面部分と地面と触れる部分のみ冷え、固まった上下の部分はそこに留まり、固まっていない中央部分が先に進んでしまうために発生した空洞であると佐々木先生から説明を受けました。

氷穴の見学後は、山中湖へ向かいました。山中湖は富士五湖の中で最も標高の高い場所に位置し、水深が最も浅い湖で、937年の鷹丸尾溶岩によって桂川がせき止められたことで誕生しました。山中湖を訪れた後は忍野八海を訪れました。忍野八海は大小8つの池があり、透き通ったきれいな湧水が湧き出ているところで、観光地として多くの方が訪れていました。忍野八海を訪れた後は富士急の富士山駅へ向かい、解散となりました。

今回の巡検で、私たちは山梨の古くからの暮らしを学ぶとともに、富士山や富士五湖の成り立ちや位置関係を学ぶことができました。また、巡検という形で、講義では感じることでできないその場所の雰囲気や規模、様子を実際に見て体験する貴重な体験をすることができました。今回の巡検を通じて参加者には富士山と富士五湖、そして忍野八海について理解を深めていただけたら嬉しく思います。

今回の巡検で企画段階から親身に相談に乗って下さり、また案内をしてくださりました佐々木先生、当日参加していただいた皆様並びにお世話になりました現地の方々に感謝申し上げます。

国土館大学地理学会行事部

原 亘輝

間所 賢文

【新刊案内】

J. ウォーリー・ヒギンズ著『60年前の東京・日本』光文社新書、1,500円＋税。



地理を学ぶ全ての学生にお勧めの新刊書です。新書版の写真集なので、値段も手頃で、とても楽しく読める本です。フルスペックのタイトルは「秘蔵カラー写真で味わう 60年前の東京・日本」というもので、アメリカから日本に来て日本の鉄道や風景に魅せられ、日本で結婚して住みつくことになった著者による、写真とその解説からなる内容です。1950～60年代の日本のランドスケープが、鉄道やバスを含む写真を中心に、多数掲載されています。しかも、コダックのフィルムで撮影された写真が、とても美しく表現されています。もしかしたらこの本から、皆さんの卒論のテーマを見つけることができるかもしれません。私のかつての卒論の題材（雑木林）も、しっかりと写されていました。（磯谷達宏）

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階 (10201) に地理・環境専攻の学生のための地理実習室があります。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。

利用時間と利用方法

毎日 9 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0 (原則)

- ・利用希望者は **5 号館 1 階 授業支援課カウンター**（※授業支援課の受付時間は、8:30~17:00）で、カギの貸出簿に必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（マップケースそば）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを**授業支援課カウンター**に返却すること。17:00 以降にカギを返却する場合は、文学部担当窓口ドア横の返却箱に戻す。
- ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらためてカギを借り出すこと。**カギの又貸しは、原則禁止します。**
- ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
- ・地理実習室は飲食禁止です。整理整頓を心掛け、ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい。
- ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、携帯電話も使用禁止です。通話・利用等は玄関か屋外でして下さい。

2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出も可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生、日本地理学会元会長・東京大学名誉教授の吉川虎雄先生のご遺族より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。

国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（数年分）、経済地理学年報（約 20 年分）もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。

統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピー）は、教員の許可があればできます。

3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末（PC）とプリンタ、スキャナ等が設置されています。これも学習用に利用できます。情報メディアセンターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト（オフィス系）を使用することができます。利用上の注意は、情報メディアセンターの端末と同様です（学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止です）。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。
4. 地理実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。
なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。
5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（※ 必ず読んで、ルールを熟知すること）

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないように、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出しした者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2018年度）】※ 書名と出版社名のみ

【全集・事典・地図等】

- 日本 200 年地図: 伊能図から現代図まで全国 130 都市の歴史をたどる 河出書房新社
- 日本全国 境界未定地の事典 東京堂出版
- 日本の近代地形図の始まり: 明治前期フランス地図測量技術の導入とその後 風間書房
- 近代測量史への旅 法政大学出版局
- フリーGIS ソフト MANDARA10 入門 古今書院
- フリーGIS ソフト MANDARA10 パーフェクトマスター 古今書院
- 経済・政策分析のための GIS 入門 1: 基礎 古今書院
- 経済・政策分析のための GIS 入門 2: 空間統計ツールと応用 古今書院
- ドローンで迫る 伊豆半島の衝突 岩波書店
- 必携ドローン活用ガイド 東京法令出版
- 防災・環境のための GIS 古今書院
- 日本 (世界地誌シリーズ 1) 朝倉書店
- 中国 (世界地誌シリーズ 2) 朝倉書店
- EU (世界地誌シリーズ 3) 朝倉書店
- アメリカ (世界地誌シリーズ 4) 朝倉書店
- アフリカ (世界地誌シリーズ 8) 朝倉書店
- ロシア (世界地誌シリーズ 9) 朝倉書店
- 中部アメリカ (世界地誌シリーズ 10) 朝倉書店
- シリーズ〈地誌トピックス〉1~3 朝倉書店
- 南ヨーロッパ 古今書院
- 四国地方 (日本地方地質誌) 朝倉書店
- 東北地方 (日本地方地質誌) 朝倉書店
- 日本の淡水魚 山と溪谷社
- とちぎの野生動物 随想舎
- 日本のシカ 東京大学出版会
- 日本の海岸植物図鑑 トンボ出版
- 日本のクモ 増補改訂版 文一総合出版
- 落ち葉の下の小さな生きものハンドブック 文一総合出版
- 図説 日本の植生 第 2 版 朝倉書店
- 帝国日本の気象観測ネットワーク I~VI 農林統計出版
- ビジュアル日本の鉄道の歴史 (全 3 巻) ゆまに書房

【人文地理学関係】

- 現代人文地理学の理論と実践 明石書店
- 近代日本の地域発展と鉄道 日本経済評論社
- 満員電車がなくなる日 改訂版 戎光祥出版
- 近代東京の地政学 吉川弘文館
- 佐賀 酒と魚の文化地理 海青社
- 離島研究VI 海青社
- 自然と人を尊重する自然史のすすめ 海青社
- 地域と統計 ナカニシヤ出版
- ソーシャル・キャピタルの経済分析 慶應義塾大学出版会

- 地域政策の経済学 日本評論社
- 全国 通勤電車大解剖 満員電車を解消することはできるのか? (【図説】日本の鉄道) 講談社
- 県都物語 47 都心空間の近代をあるく 有斐閣
- 近代日本の旅行案内書図録 創元社
- 島の地理学 法政大学出版局
- 『ニルスのふしぎな旅』と日本人: スウェーデンの地理読本は何を伝えてきたのか 新評論
- 国際産業立地論への招待: アジアにおける経済のグローバル化 新評論
- 若者の就職移動と居住地選択 古今書院
- ランドマーク 古今書院
- ジオグラフィアの旅 4 衣食住の旅 古今書院
- 地理的オーストラリア論 古今書院
- 文明の精神 古今書院
- 遷都と国土経営 古今書院
- ベーシック都市社会地理学 ナカニシヤ出版
- 飛騨高山 地域の産業・社会・文化の歴史を読み解く 風媒社
- 観光地域学 竹林館
- ドイツの観光学 ナカニシヤ出版
- 地図の進化論—地理空間情報と人間の未来 創元社
- 若者たちの海外就職 ナカニシヤ出版
- フードビジネスと地域 ナカニシヤ出版
- The Regional Geography of Japan 北海道大学出版会
- 都市と港湾の地理学 風媒社
- 「地理総合」ではじまる地理教育 古今書院
- 絵図にみる幕末の北辺防備 古今書院
- エーヤーワディーの河の流れ 古今書院
- 経済地理学再考: 経済循環の「空間的組織化」論による統合 ミネルヴァ書房
- 流入外国人と日本: 人口減少への処方箋 海青社
- ツーリズムの地理学: 観光から考える地域の魅力 二宮書店
- 近代日本のフードチェーン: 海外展開と地理学 海青社
- 地理女子が教える ご当地グルメの地理学 ベレ出版
- 世界がわかる地理学入門—気候・地形・動植物と人間生活 ちくま新書
- 景観写真で読み解く地理 古今書院
- 進化する企業城下町 古今書院
- 都市郊外のジェンダー地理学 古今書院
- 北西ヨーロッパの空間構造 古今書院
- インドのグローバル化と空間的再編成 古今書院
- ドイツ地理教育改革と ESD の展開 古今書院
- 小学校における社会科地理教育の実践と課題 古今書院
- 新よくわかるライフデザイン入門 古今書院
- 寒冷アジアの文化生態史 古今書院

- 越境者の人類学 古今書院
- 鳥獣害問題解決マニュアル 古今書院
- 観光 MICE：集いツーリズム入門 古今書院
- アラブ経済史 明石書店
- 中東・イスラーム研究概説 明石書店
- アホウドリと「帝国」日本の拡大 明石書店
- 地図でみる日本の健康・医療・福祉 明石書店
- 介護行財政の地理学 明石書店
- 現代アラブを知るための 56 章 明石書店
- EU（欧州連合）を知るための 63 章 明石書店
- 現代インド 4 台頭する新経済空間 明石書店
- 研究開発機能の空間的分業 東京大学出版会
- 産業集積地域の構造変化と立地政策 東京大学出版会
- 内発的農村発展論 理論と実践 農林統計出版
- 鉄道ファンのための私鉄史研究資料—1882 to 2012 電気車研究会
- 初詣の社会史—鉄道が生んだ娯楽とナショナリズム 東京大学出版会
- 私鉄郊外の誕生 柏書房
- 地域の足を支える コミュニティバス・デマンド交通 鹿島出版会
- 非日常の観光社会学 森林鉄道・旅の虚構 日本経済評論社
- 空中写真に遺された昭和の日本（東日本編） 創元社
- 【自然地理学関係】
- はじめての自然地理学 古今書院
- おだやかで恵み豊かな地球のために 古今書院
- 実践統合自然地理学 古今書院
- 地層のきほん 誠文堂新光社
- 都市環境の気候学 古今書院
- 平成の風水害 地域防災力の向上を目指して 農林統計出版
- 卒論・修論のための自然地理学フィールド調査 古今書院
- 図解 日本列島植生史 朝倉書店
- 北海道自然探検 ジオサイト 107 の旅 北海道大学出版会
- 札幌の自然を歩く〔第 3 版〕 北海道大学出版会
- 年代で見る 日本の地質と地形：日本列島 5 億年の生い立ちや特徴がわかる 誠文堂新光社
- 写真で愉しむ 東京「水流」地形散歩 集英社
- 揺れ動く大地 プレートと北海道 北海道新聞社
- サルはなぜ山を下りる？ 京都大学学術出版会
- マングローブ林 京都大学学術出版会
- 送粉生態学調査法（生態学フィールド調査法シリーズ） 共立出版
- 大型陸上哺乳類の調査法（生態学フィールド調査法シリーズ） 共立出版
- 動物-植物相互作用調査法（生態学フィールド調査法シリーズ） 共立出版
- 生物多様性の多様性 共立出版
- 樹と暮らす 築地書館
- ツキノワグマ 東京大学出版会
- 日本のネズミ 東京大学出版会
- 哺乳類の生物地理学 東京大学出版会
- 化石の植物学 東京大学出版会
- 水辺の樹木誌 東京大学出版会
- 湿原の植物誌 東京大学出版会
- クマ問題を考える 山と溪谷社
- 砂漠と気候 増補 2 訂版 成山堂書店

※ 自分の興味に近い標題の本はありませんか？基本的に地理実習室に置いてありますので、まずは手にとってみてみましょう。貸出できる本も多いので、興味ある本は借りてじっくり読んでみましょう。

【地理学教室・購入主要備品リスト（2018年度）】

- パソコンソフト SPSS 25
- 学生用パソコン（地理実習室） 3 台
- ガーミン ハンディ GPS 1 台
- おんどとり TR-52I 3 台

* 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。以前に購入した国勢調査の電子データ（従業通学データ）、商業統計表データ（立地環境特性別統計編（商店街ごとの売上などが掲載されたデータ））、事業所・企業統計データ（市区町村別・産業小分類別事業所数のデータも入手可能）、農林業センサス集落カードなどもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員（とくに加藤）まで。

【製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2018年度）】

- ・地理学教室では、1986年度から2017年度までに提出された卒業論文のうち、550編を優秀卒業論文として保存しており、そのリストは地理学教室ホームページに掲載されています。2018年度の卒業論文のうち、優秀卒業論文として保存されるのは、次の4論文です。

氏名	表題	所属ゼミ
高木今日太	アニメ作品の舞台となった地域における住民意識の地域差 ー京都府宇治市と静岡県沼津市を事例にー	内田ゼミ
中田 周誠	鴻巣市安養寺地区において見られる年中行事の実態	内田ゼミ
須藤 政人	等々力溪谷公園の利用形態とその特性	内田ゼミ
大澤むつき	三浦半島南部における海岸草原の種組成と分布 ーとくにイズネシア型植物の生育状況に着目してー	磯谷ゼミ

2001年度以降の優秀卒業論文はホームページから閲覧することができ、下の論文もそこに含まれます。ただし、印刷はできません。

閲覧にはパスワード等が必要になります。これに関しては講義やゼミの際に、地理学教室専任教員から聞いて下さい。不明な点があれば、担当の教員まで問い合わせてください。

※長谷川 (hasegawa@kokushikan.ac.jp)

- ・2019年3月15日（金）の全国地理学専攻学生卒業論文発表大会（「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会：日本地理教育学会主催）には、中田周誠（内田ゼミ）、須藤政人（内田ゼミ）の両君が選ばれました。

【2019年3月卒業生の進路・就職先】

- | | |
|---------------|-------------------|
| ■東京日野自動車 | ■大創産業 |
| ■吉田（カバン） | ■トレーダー |
| ■TOTO バスクリエイト | ■日産プリンス茨城販売 |
| ■小野板金工業 | ■アサヒロジスティクス |
| ■パスコ | ■イワイ |
| ■協振技研 | ■協和情報開発 |
| ■国土防災技術 | ■マルティスーブ |
| ■ジャストプラン | ■コスメディア |
| ■大輝 | ■ルーセントスクエア |
| ■東日本旅客鉄道 | ■JA バンク |
| ■富山地方鉄道 | ■スターツアメニティ |
| ■羽田空港サービス | ■UT グループ |
| ■JAL ナビア | ■ネオキャリア |
| ■福山通運 | ■日本マニファクチャリングサービス |
| ■日の丸交通（2） | ■日本調剤 |
| ■ハートランドフェリー | ■千葉県警察 |
| ■アパグループ | ■上越市役所 |
| ■水戸中央青果 | ■東京都大田区役所 |
| ■東京荏原青果 | ■特別区人事・厚生事務組合 |
| ■大田花き | ■（財）休暇村協会 |
| ■ヨークマート | ■横浜国立大学大学院（2） |
| ■富士シティオ | ■青山製図専門学校 |
| ■オートバックスセブン | |

※ 以上は、主として2月上旬時点で地理学教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告があったものです。

以上の就職・進学先に内定等を得た学生のうち、何人かに就職体験談を寄せてもらいました。質問内容は次の通りです。次の1～12の質問内容に対する回答を掲載しています。

1.氏名，2.内定企業名，3.業種，4.職種，5.その企業を選んだきっかけは何か？6.内定までの流れ（時期と選考内容），7.やっておいてよかったこと，8.面接で聞かれたこと，9.失敗談，うまくいかなかったこと，10.この企業に就職することを決めた理由は？11.面接が不合格だった後に努力や工夫したこと，12.後輩へのメッセージ（アドバイス）

1. 高木 今日太
2. ハートランドフェリー株式会社
3. 一般旅客定期航路事業および貨物利用運送事業
4. 総合職（勤務地：稚内）
5. 元々Iターン就職を希望しており、長期休暇に知床で住み込みのアルバイトをしていた経験から北海道を勤務先として選択しました。
6. 3月中旬 会社説明会兼一次面接 → 4月上旬 二次(最終)面接 → 4月中旬 内々定
7. 自信をもって人に話せる趣味をもち、学生のうちにしかできない経験しておくこと。
8. 志望動機、大学の研究、趣味、北海道での生活に関する確認 等
9. Iターン就職の関係上面接前日にホテルなどへ宿泊していたのですが、移動の疲労が蓄積していたり、寝付けなかったりと体調管理が大変でした。
10. 勤務地の魅力と休暇制度
11. 前述しましたが、体調管理に気を配り万全の状態面接に臨むようにしました。
12. 4年制の大学には専門学校と違って4年間という時間的な余裕があります。もちろん研究は大切ですが、その4年間で自分の適性を考え、じっくりと自分探しをする事も大切だと思います。私は学生生活中に趣味として全国各地を旅行した結果、Iターン就職を希望するという結論に至りました。

1. 名倉 楓也
2. 株式会社 吉田（カバン）
3. 総合職
4. サービス業
5. 自分自身のやりたいこと、給与、休日の観点で総合的に考え、自分に合っていると考えたため。
6. 3月末 エントリーシート締め切り
4月初旬：一次面接（グループワーク） 4月中旬：二次面接
4月末：三次面接 5月：性格判断テスト（SPIではない）
6月：初旬 四次面接 ←2日後：最終面接
7. 自己分析・企業の情報収集
8. エントリーシートに沿って聞かれることが多かった。またそこからの深掘り。
9. 面接慣れをしないと、相手にうまく伝わらない。カンペなどは作らず、自分の考えをしっかりと伝えることが失敗しない秘訣だと感じた。
10. 株式会社にも関わらず、上場しておらず、会社体制がうまく循環していると考えたから。
11. とにかく切り替える。自分はそこに入るべき場所ではなかったと考え、次を見据えること。
12. 結果論にはなりますが、就職活動はとても楽しいものです。自分のこれからの人生を決める大事な分岐点ですが、そこまで畏まることなく今自分のやりたい事、楽しめることを仕事にする事が大切だと思います。是非、就職活動を楽しんで、内定を多く勝ち取ってください。

1. 鈴木 裕太
2. 水戸中央青果株式会社
3. 卸売業
4. 営業職
5. 宮地先生の築地市場見学で卸売業に興味を持ち、地元の野菜や果物を扱いたいと思ったから
6. 3月中旬 説明会 3月下旬 面接 4月上旬 内々定 6月上旬 内定
7. 横浜丸中青果に勤務しているゼミの先輩へのOB訪問
8. 朝早いのが大丈夫か？ 大学で何を取り組んできたか？ （宮地ゼミの）福島プロジェクトとはなにか？
9. 特にありません

10. 地元の野菜や果物を取り扱っている企業で親戚や家族が近くに住んでいるから
11. 不合格がなかったため分かりません
12. 私は挫折なく就活を終えることが出来ましたが同じゼミ生の中には多くの挫折を味わってきた仲間もいました。その挫折を分かれとは言わないですが聞いてあげることによって楽になる仲間もいるとおもいます。自分のことでいっぱいになりがちなの活期間ですが、一旦立ち止まって周りの状況や自分の立ち位置を考えることも大切だとおもいます。地理環境コースの皆さんも就活頑張ってください。陰ながら応援しています。

1. 根上 大希
2. 富山地方鉄道株式会社
3. 運輸
4. 総合職
5. 地元貢献ができる企業であること
6. 3月下旬に説明会、5月中旬に第一次面接（人事課の方1人＋人事課長）、6月初旬に筆記試験＋最終面接（人事課長＋取締役）、6月下旬に内々定。
7. ESの内容をしっかり考えること。特に志望動機。
8. 趣味 自分の長所・短所（長所・短所に関しては、ほぼすべての企業で聞かれた） 大学の講義で学んだこと何か1つ どんな職員になりたいか どんな態度で仕事に臨むか 最近のニュースで気になったこと 今回の自分の面接に点数をつけるならば何点か
9. 面接の際に緊張して自分の言いたいことをうまくまとめ、伝えることができなかったこと。
10. 子供の頃の夢であった鉄道に携わる仕事と、近年の夢であった地元貢献をすることの両方を叶えることができると思ったから。
11. 自分を否定しないこと。面接で不合格になった場合はその会社とは人間性が合わなかったと思ひこむ。
12. 試験や面接の会場をあえて離れた場所で受ける（例えば東京の人なら名古屋で受ける）と、試験や面接以外の時間は遊べるので、旅行感覚で気分も多少紛らわすことができ、多少の息抜きにもなると思います。インターンシップは自らが希望する業種の仕事内容を知るだけでなく、会社の雰囲気も知ることができるので積極的に参加したほうがいいと思います。

1. 山口 直紀
2. 国土防災技術株式会社
3. 建設コンサルタント
4. 技術職
5. 測量やGISの授業で学んだことを仕事に生かしたいと考え、これから防災という分野がますます注目される中、社会貢献が出来る建設コンサルタントという業種にしました。
6. 6月下旬：書類選考 → 7月中旬：SPI・面接 → 7月下旬：内々定
7. SPI対策（テキストを活用） 面接練習（地元が静岡県だったので静岡県が公認している就活サポートセンターが都内にあったため利用した。地方出身の方はそれぞれの地元でそういった場所が都内にあるか調べて利用するのも良いかもしれません）
8. 志望動機・自己PR・学生時代頑張ったこと・長所短所・入社してから取り組みたいことなど
9. 面接が終わってから、ああ言えば良かったと思うことが多々あった。
10. 雰囲気がよく、全国に展開している企業で働きたいと思ったから。
11. どんな質問が来たかを振り返り、改善できる所は改善し同じミスを繰り返さないようにした。
12. 最終面接で落とされることもあったので、最終面接に進んだから大丈夫と思わずに最後まで気を緩めず頑張ってください。うまくいかないときは気落ちしてしまいがちですが、気持ちを切り替えて取り組んで下さい。

1. 久保 秀平
2. 東日本旅客鉄道（東京支社）
3. 運輸業
4. プロフェッショナル職
5. 幼いころからの夢であり、社会貢献度が高い仕事であると感じたため。
6. 3月のエントリー後、4月上旬に説明会（座談会）へ参加 4月中旬：1次選考 ES・SPI・適性検査（クレペリン） 6月上旬：最終選考（GD・個人面接）・健康診断 →2日後に選考結果連絡

7. OBや業界人への訪問 企業研究→配布資料だけではなく、会社HPもよく読んだほうが良いと思います。インターンシップへの参加→企業も相当なコストをかけて実施しており、ただ受け身で参加するのではなく、興味や熱意を伝えることができると、その後の選考を有利に進める企業もありました。
8. なぜJRなのか 学生時代に頑張ったこと（そこでの役割・苦労したこと） 会社の強み・弱みはどこか 入社してやりたいことはあるか ストレスを溜めやすいか（その発散法は何か） 英語は得意か 志望度の確認 キャリアパスの確認 泊まり勤務は問題ないか 等々
9. 他社でESは提出したが、Webテストを受け損ねたこと（HP、書類はよく確認しましょう） 初めの面接数回は緊張で熱意を伝えられなかったこと。→場慣れも必要と感じました
10. 業界への憧れや、ゼミで通った福島での活動から東北地方の魅力を知り、首都圏路線での仕事を通じて、鉄道維持に貢献したいと考えたため。
11. 面接は一度聞かれたことは記録し、次の受け答えに生かしました。また、緊張はその会社で働きたいという熱意を高め、挑むことで軽減できました。
12. 国士館の地理ではフィールドワークをはじめとして多くの経験を積めるチャンスがあります。特に学内の地理学会での巡検や懇親会の調整など良い経験になりました。それは就活をはじめとして生きるはずです！ 国士館の地理は少人数な分、先輩やゼミの垣根を超えた人脈形成ができます。特に志望業界の人脈は大きな武器になります。是非、積極的に参加し、活用して下さい！

1. 須藤 政人
2. 大田区役所
3. 公務員
4. 事務
5. 祖父や叔父が公務員だったために憧れがあり、都内で就職したいと考えていたため。
6. 3年4月初旬：公務員専門学校に 8月中旬：本格的に勉強を開始（1日8～10時間程度）
9月以降：模試、公務員の説明会などに参加
4年3月中旬：エントリーシート提出 4月：他の公務員試験 5月初旬：特別区1次試験
7月中旬：特別区2次試験 8月中旬：第1提示・区面接 10月中旬：第2提示・区面接
11月中旬：第3提示・区面接 12月初旬：内々定
7. 苦手な科目を出来るだけつぶし、本当にできないものは捨て他のもので補うように勉強したこと。
8. 3分間の自己PR、地元でなく都内を選んだ理由、これまでに経験した一番大きな失敗とその克服方法、在学中の努力したことについて、その他の面で努力した点など
9. 履歴書の受験番号を間違えたまま、そのまま提出したときがあった（他の公務員試験）
10. 合格した公務員の中で最も柔らかい雰囲気があり、一緒に働いていくうえで一番良いと思ったため。
11. 何がだめだったのかを一度だけ振り返り、メモなどをとる。その後は、ここは自分に合わなかったと切り捨てるようにしていた。
12. 公務員試験は他の人たちに比べ、開始時期も終わる時期も遅く苦労すると思いますが、努力しただけ結果はついてきます。頑張ってください。

1. 大澤 むつき
2. 横浜国立大学大学院 教育学研究科 教育実践専攻 教育デザインコース(社会)
5. 横浜国大は教育系が強いところだと言うことは以前から知っていました。他の大学院も調べていたら、植生地理学を学びながら教育も学べる場所がなく、またあったとしても理科の方で植物学しかなく、社会科学の教員を目指したいので横国を選びました。入試前の合同説明会やその後個別で訪ねた時に、とても丁寧に詳しくカリキュラムや開講講義などを教えて下さり、印象が良かったのも選んだ理由の1つです。
6. 出願期間：8月中旬 試験日：9月下旬（1日目は筆記試験、2日目は面接） 合格発表：10月上旬
入学手続き：1月中旬
7. 試験前に何度かキャンパスを訪れていたことが、やっておいて良かったことだと思っています。そのおかげで周辺の環境も含めて少しでも慣れることができ、試験当日に極度の緊張はなく落ち着いて受け応えができました。開講講義の一部にどのようなものがあるかを事前に伺っていたので、面接の時に訊かれると予想していた「入学後にどのような研究をしたいか」という質問の応えを考えることもできました。これも事前に訪問していたおかげだと思います！
8. 面接は二部に分かれていて、前半は志望動機(なぜ進学したいのか、なぜ他の大学ではなく本校なのかなど)、入学したら研究したいこと、後半は現在の研究について(卒論)、入学後の研究計画について訊かれました。
9. 大きな失敗をしたということはとくに思い当たりませんが、面接で予想していなかった質問があったので

焦って少し言葉が詰まったことくらいです(何を訊かれたかは覚えていません…).

10. 選んだきっかけと被りますが、植生地理学をやりながら教育も学べるという点です。(1校しか受験していないのもあり、もしダメだったら一般企業を受けようと思っていました)。自然に囲まれたキャンパスで居心地がいいこと、先生方が親切そうで印象が良かったこと、そして通学時間が短くなることが決めた理由でもあります。
11. ないです。
12. 私は、社会科の教員になりたいという目標を達成できるように、専門に関する知識をより深めると同時に実際に教育現場で実践できる方法を学びたいと思ったので進学を決めました。進学に限らず、自分の興味のある分野に進んで楽しみながらやっていければ良いのかなと思います。前もって自分の希望する進路先の情報を入手することは大切だと実感しました。だから皆さんにも少しでも多く情報入手をしてもらいたいと思います。

1. 河野 哲也
2. 株式会社協振技建
3. 建設コンサルタント
4. 技術職
5. 一番携わりたい仕事かつ、大学で学んだことを活かせると考えたため。
6. 5月下旬：会社説明会 6月上旬：1次選考（会社独自のテスト） 6月中旬：2次選考（個人面接）
6月下旬：3次選考（個人面接） 6月下旬：内々定
7. 業界研究
8. 志望動機、趣味、研究テーマ、入社後何をしたいか、学生生活のなかで勉強以外で学んだこと、他社との比較、留年した理由 など
9. メール送信の際、企業の漢字表記を間違えてしまったこと。
10. 会社説明会の際、プレゼンテーションや社内の雰囲気の良さが印象に残ったため。
11. 1社しか受けておりません。
12. 面接の際に、何か笑い話を持っているとスムーズに進み、緊張も和らぐと思います。企業理念などで、自分の考えと重なり合う部分を見つけアピールすることが重要です。周りが決まり始めると焦るかもしれませんが、焦らず自分のペースで進めることが大事だと思います。

【2018年度における教員の研究活動】

長谷川 均 教授

論文：

- ・長谷川 均・鈴木厚志 (2018)：日本地理学会におけるアウトリーチ—資格認定事業を中心に—。E-journal GEO 13, pp. 164-169.
- ・長谷川 均 (2019)：地理学の視点から見たサンゴ礁海岸の開発と保全。地理, 64 巻 2 号, pp.32-39.

学会発表：

- ・田中 圭・濱 侃・菅 浩伸・長谷川 均 (2018)：マルチプラットフォームリモートセンシングに基づく洲島の形状変化モニタリング。地球惑星科学連合 2018 年大会。幕張メッセ。
- ・TANAKA, K., HAMA, A., KAN, H. & HASEGAWA, H. (2018)：Reconstruction of topography on shallow seafloor around Hatenuhama Sand Cay using aerial photographs. JASAG 2018 workshop (Japan-Australia Sangosho Geomorphology). Research Center for Coastal Seafloor, Kyushu University.
- ・HAMA, A., TANAKA, K., KAN, H. & HASEGAWA, H. (2018)：Use of Multi-platform, Multi-temporal Remote Sensing Data for Sand Cays Monitoring. JASAG 2018 workshop (Japan-Australia Sangosho Geomorphology). Research Center for Coastal Seafloor, Kyushu University.
- ・HASEGAWA, H., TANAKA, K., HAMA, A. & KAN, H. (2018)：Hatenuhama Sand Cay Maps：Using Drones to Create Orthorectified Maps. JASAG 2018 workshop (Japan-Australia Sangosho Geomorphology). Research Center for Coastal Seafloor, Kyushu University.
- ・長谷川 均 (2018)：地理学の視点から見たサンゴ礁海岸の開発と保全。「サンゴ礁保全の現在とこれから」日本地理学会秋季学術大会 シンポジウム, 2018 年 9 月 23 日。和歌山大学。

- 菅 浩伸・藤田和彦・長谷川 均・堀 信行・横山祐典・有安恵美子・中島洋典・長尾正之・Duce, S. J. & Vila-Concejo, A. (2018) : 高解像度マルチビーム測深を用いた久米島東部の堡礁および島棚の海底地形. 日本サンゴ礁学会第21回大会, 2018年11月23日. 琉球大学.
- 菅 浩伸・堀 信行・横山祐典・中井達郎・長谷川 均・中島洋典・浦田健作・藤田和彦・渡久地 健・鈴木 淳・長尾正之・田中美保 (2019) : 最終氷期最盛期の低海水準に対応した海底地形面の分布—琉球列島沿岸域のマルチビーム測深結果と最新の海水準研究を基にして—. 日本地理学会春季学術大会, 2019年3月21日. 専修大学.

学会活動 :

- 日本地理学会 理事・代議員
- 日本地理学会資格専門委員会 (委員長)
- 日本地図学会 評議員
- 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 拠点運営委員会 委員

内田 順文 教授

その他(講演) :

- 内田 順文 (2019) : さまざまな世界観: 空間と時間のイメージ. 三鷹市市民大学事業『武蔵野の意味を探る会』, 2019年1月26日, 三鷹市元気創造プラザ4階生涯学習センター.

岡島 建 教授

学会活動:

- 歴史地理学会 評議員

磯谷 達宏 教授

著 書 :

- 磯谷達宏 (2018) : 地形分類図と現存植生図の双方を作成することの意義. 統合自然地理学研究会編著・岩田修二責任編集『実践 統合自然地理学—あたらしい地域自然のとらえ方—』古今書院, pp. 58-61.

論 文 :

- 岡田真次・近藤博史・磯谷達宏. 山梨県松姫峠付近における太平洋型ブナ林の立地と更新. 国士舘大学地理学報告, 第27号, 1-22. 2019年3月20日.

学会活動 :

- 植生学会 編集委員

その他(講演) :

- 生田緑地付近における土石流発生の履歴を調べる. 川崎市生田緑地 自然環境保全管理会議 平成30年度第3回会議 (講演会) 「生田緑地の地形とその動きを探る」. 2018年11月18日. 川崎市多摩区役所.

その他(委嘱業務) :

- 神奈川県川崎市生田緑地 自然環境保全管理会議 会長
- 東京都世田谷区 世田谷名木百選 選定委員

加藤 幸治 教授

著 書 (分担執筆) :

- 加藤幸治 (2018) : サービス経済. 経済地理学会編『キーワードで読む経済地理学』原書房, pp.143-152.

書 評 :

- 加藤幸治 (2018) : 加藤和暢著『経済地理学再考—経済循環の「空間的組織化」論による統合』. 地理学評論, 91, pp.504-505.

学会活動 :

- 地理科学学会 評議員

- ・日本経済学会連合 英文年報第 38 号 編集委員

その他：

- ・加藤幸治 (2018) : 国士舘大学地理学教室の教育目標. 地理教育研究会会報, 529, pp.3-4.
- ・Koji KATO (2018) : The Japan Association of Economic Geographers. *Information Bulletin of The Union of National Economic Associations* (日本経済学会連合 英文年報), 38, pp.36-43.
- ・加藤幸治 (2019) : 紙碑 榎幸雄先生のご逝去を悼む. 『経済地理学年報』, 65, (印刷中).

佐々木 明彦 准教授

論文：

- ・佐々木明彦・荻谷愛彦・鈴木啓助 (2019) : 白馬岳高山帯の山火事跡地における地表環境の変化. 地学雑誌, 第 128 卷, pp.115-127.
- ・鈴木啓助・佐々木明彦 (2019) : 中部山岳地域における気象観測網の展開. 地学雑誌, 第 128 卷, pp.9-19.
- ・鈴木啓助・佐々木明彦 (2018) : 北アルプス鹿島槍ヶ岳カクネ里における暖候期の気象観測. 市立大町博物館研究紀要, 第 3 号, pp.23-29.
- ・清水啓紀・佐々木明彦・鈴木啓助 (2018) : 乗鞍岳東斜面における降雨および融雪に対する地表流の応答. 日本水文科学会誌, 第 48 卷, pp.71-80.
- ・西村基志・佐々木明彦・鈴木啓助 (2019) : 乗鞍高原における積雪融解プロセスの経年変動および再現と将来予測—熱収支モデルと融解モデルを用いた検討—. 地学雑誌, 第 128 卷, pp.61-74.
- ・Nishimura, M., Sasaki, A. and Suzuki, K. (2018) : Energy balance variation on the snow surface during the snow covered season in the Norikura highland, Japanese Alps area. *Bulletin of Glaciological Research*, 36, 23-35.
- ・Kataoka, K., Matsumoto, T., Saito, T., Kawashima, K., Nagahashi, Y., Iyobe, T., Sasaki, A. and Suzuki, K. (2018) : Lahar characteristics as a function of triggering mechanism at a seasonally snow clad volcano : contrasting lahars following the 2014 phreatic eruption of Ontake Volcano, Japan. *Earth, Planets and Space*, 70, pp.113-131. <https://doi.org/10.1186/s40623-018-0873-x>

学会発表：

- ・佐々木明彦・鈴木啓助 (2018) : 北アルプス南部, 西穂高岳亜高山帯における積雪グライド量の観測. 日本地球惑星科学連合 2018 年大会 (JpGU 2018), 幕張メッセ.
- ・佐々木明彦・鈴木啓助 (2018) : 北アルプス乗鞍火山富士見岳の高山帯における気温・地温観測. 日本雪氷研究大会 (2018・札幌), 北海道科学大学.
- ・佐々木明彦・西村基志・鈴木啓助 (2018) : 北アルプス乗鞍火山の高山帯における気温・地温観測. 日本山の科学会 2018 年秋季研究大会 (松本), 信州大学.

その他(講演)：

- ・佐々木明彦 (2018) : 日本の高山帯の自然景観は脆弱なのか. 国士舘地理学会, 2018 年 12 月 22 日.

学会活動：

- ・日本地理学会 資格専門委員
- ・日本山岳文化学会 理事, 編集委員
- ・日本山の科学会 庶務・会計幹事, 編集委員
- ・日本雪氷学会北信越支部会 幹事